

# 飼育員だより Vol.14

## 冬期湛水 (ふゆみずたんぼ)

コウノトリの里の目の前の田んぼでは、「冬期湛水」がはじまりました。田んぼから水がなくなるこの時期、生き物が暮らしやすいよう水をはります。

そこではイトミミズなどが増え、「トロトロ層」という土の粒が小さくなった層ができ、食べ物を求めて沢山の小動物や鳥類、哺乳類が集まります。



さっそくヤマトとリンが来て餌を捕っていました。

